

JILPT／労働政策フォーラム
事例報告③



柏市・UR・東大共同プロジェクト 「セカンドライフ支援事業」 －概要と今後の展望－



Gerontology
Gerontology

2014年9月25日

ニッセイ基礎研究所 主任研究員 前田展弘
(東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員)

東京大学高齢社会総合研究機構(IOG)の活動概要



安いで活力ある超高齢・長寿社会づくりをリード
高齢化課題先進国⇒高齢化課題解決先進国へ

研究

地域連携

震災復興支援事業
(11-)

千葉県柏市における共同研究事業(東大-柏モデル地域創造)
⇒【柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会】による活動展開

- ①在宅医療を組み込んだ地域包括ケアシステムの具現化
- ②生きがい就労事業の創造(新しいセカンドライフの提案)
- ③住まいと移動に関する課題解決

福井県との共同研究

地方都市における在宅医療を含めた在宅ケアシステムの構築 他

産学連携

ジェロントロジー・コンソーシアム(09-10)
⇒ジェロントロジー・ネットワーク(11-)

国際連携

スウェーデンとの交流、東アジア各国研究者との交流 他

基盤研究・基礎研究／受託研究・共同研究

教育

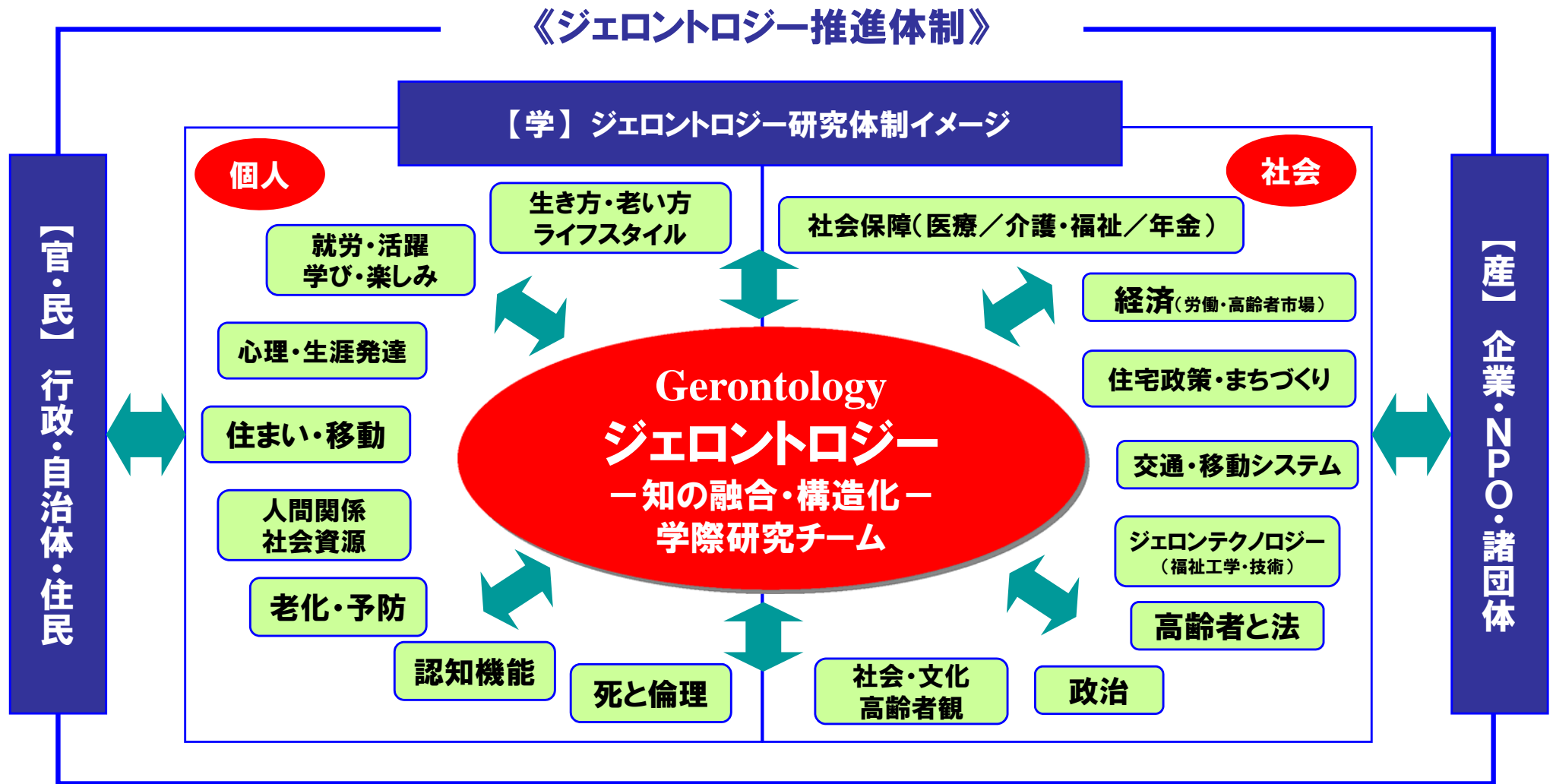
学部横断ジェロントロジー教育 他

啓発

パブリシティ活動(講演・執筆、メディア対応等)

高齢社会検定試験事業の推進
※学外活動

<参考>学際的・実学的なジェロントロジー(高齢社会総合研究)



高齢化課題解決 ⇒ 超高齢未来(生活・社会)の創造

<プロジェクトの舞台>

千葉県柏市

都心から30キロ圏。電車で3-40分。東京近郊都市として発展
昭和30年代後半より急激に人口増。現在人口約40万
高齢化率 2010年約20%→2030年約32%

豊四季台地域

JR柏駅の西側、徒歩約12-20分に位置する旧公団開発の大規模賃貸団地「豊四季台団地」(管理開始昭和39年)およびその周辺の住宅地でマンションや戸建てが混在。
豊四季台団地は高齢化率40%、周辺地域は20%弱。
団地は現在UR都市機構による建替えが進んでいる。



柏市における「長寿社会のまちづくり」プロジェクトの取組

東大IOG-柏市-UR都市機構の共同事業(2009年度～)
柏市豊四季台地域をフィールドにした超高齢社会対応のモデル地域開発

テーマ・コンセプト⇒「Aging in Place」社会の実現
・・・住み慣れた地域で最期まで自分らしく老いることができる社会の実現



生きがいに溢れる豊かなセカンドライフ
実現のための
【A】「生きがい就労事業」

最期まで確かな安心を提供するための
【B】「地域包括ケアシステム」
(在宅医療と連動したケアシステム)

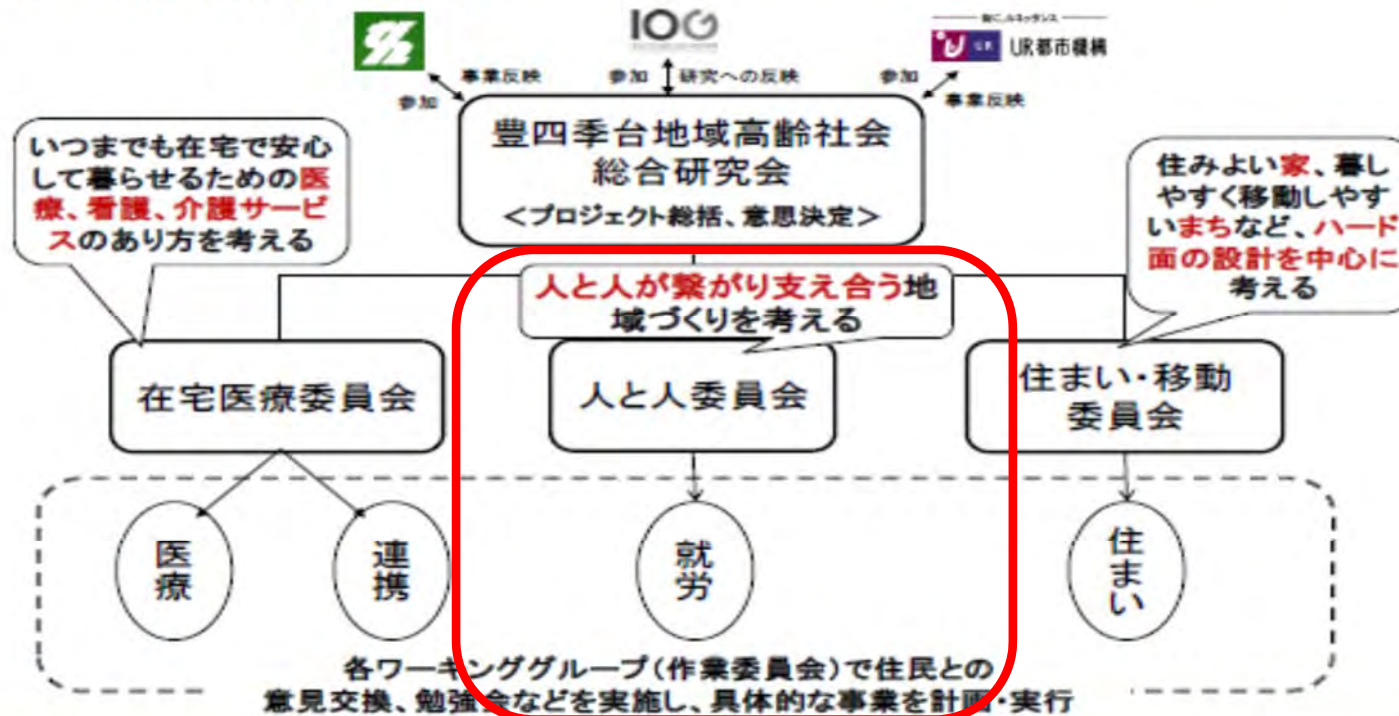
引きこもらず外に出て人と集い楽しむ
【C】「歩いて暮らせるコミュニティ」
(豊かなコミュニティスペースのまちづくり)

＜参考＞本プロジェクトの組織・体制

【目的】 超高齢・長寿社会に相応しいまちづくり

3. 柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会について

3-3. 研究会の構成

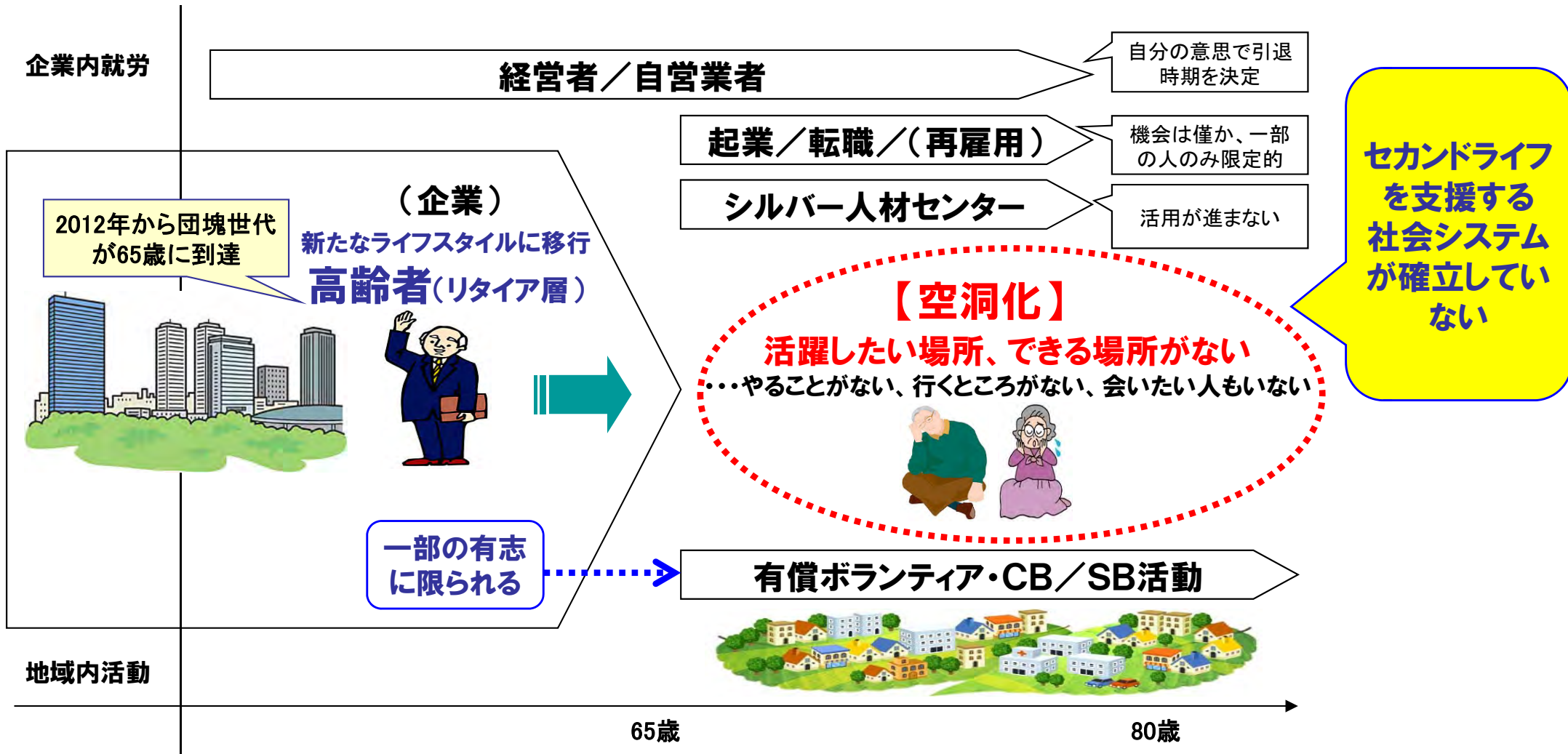


2009年度より発足
2010年度に
三者協定を締結

「生きがい就労」プロジェクトについても、
東大、柏市、URの三者が密接な協力体勢で運営

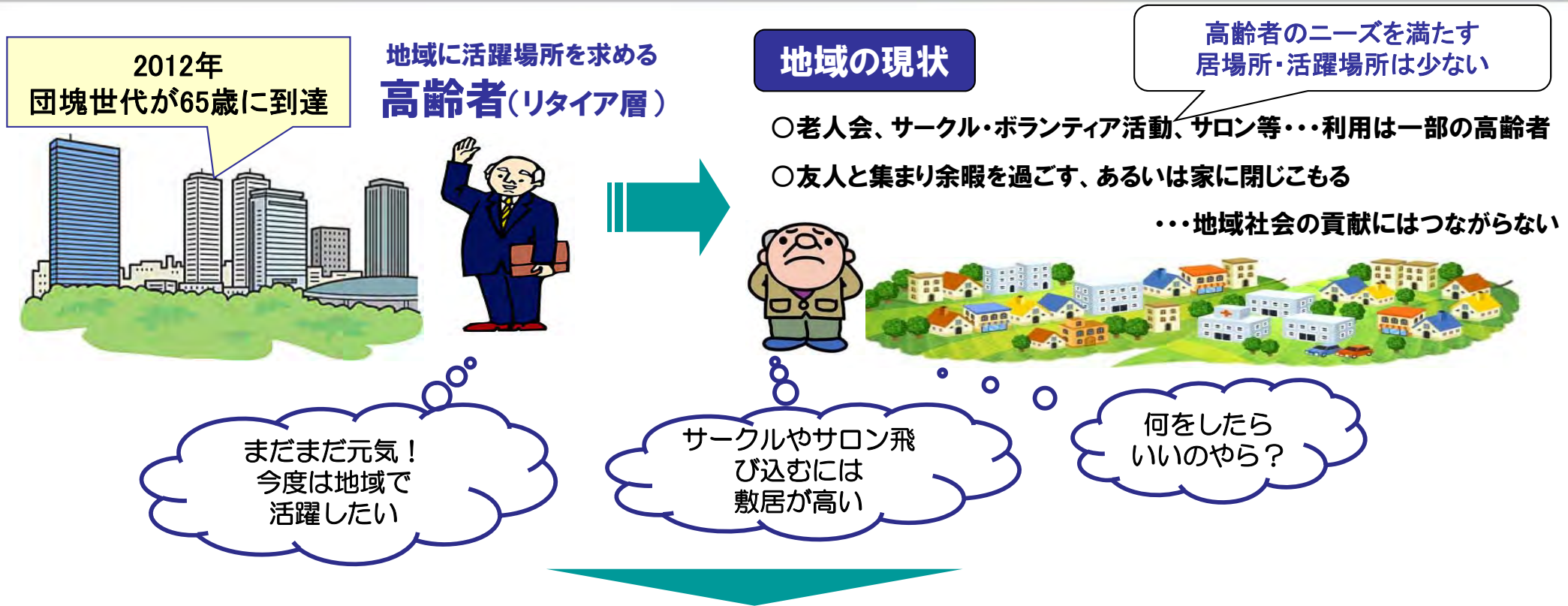
課題～満たされないセカンドライフ…貴重な社会資源の喪失

現役をリタイアした高齢者の多くが新たな活躍場所を見出せずにいる
「ない・ない」づくしで、自宅に閉じこもる⇒個人も社会も極めて不健康



課題～現在進行しつつある都市部の高齢化

都市(近郊)の急速な高齢化の問題。地域に活躍場所を求めるリタイア層に対して地域はどのような準備を行うべきか？



高齢者を(自然に)外に引き出す工夫、地域の担い手として活躍できる環境整備が必要

狙い〜「就労」で課題を解決！



高齢者、特に都市部リタイア層にとって最も抵抗の少ない社会参加のかたち

- 現役時代から慣れ親しんだ生活スタイル
- 帰属意識、社会的役割が明確に与えられる

一方で・・・

リタイア層のライフスタイルに応じた働き方が必要

- 無理なく、出来る範囲で働く・・・就労時間、場所、内容の調整
 - 地域貢献、趣味を活かす、人との関わりを求める
- ・・・生計労働から「生きがい労働」へ



これらが両立する就労は、個人の心身の健康維持に寄与するとともに地域社会の課題解決にもつながると予測

生計維持のための
就労(生計就労)

生きがい就労

交流・趣味・場
の創造・その他

◎働きたいときに無理なく楽しく働ける + ◎地域の課題解決に貢献できる

《高齢化課題解決の最大のポイント》

「生涯現役社会(エイジフリー社会)の実現」

生きがい就労事業は、個人のセカンドライフの問題と
都市近郊の地域課題を同時に解決！

個人

社会

健康・予防

生きがい

つながり

居場所

収入

生産者

消費者

納税者

医療・福祉財政

地域力

孤立防止

社会の支えあいバランス



「生きがい就労」開発実績～事業者の開拓と雇用実現

5領域9事業を開拓。のべ**174名**の生きがい就労者の雇用を実現！

(屋上農園と食事業は事業構想を策定。2014年度事業開始予定) ※2013年3月末実績



★「生きがい就労」の特徴★

生計就労



全体事業統括組織

- 就労希望人材をプール
- 職業マッチング支援
- 労働力の適切な供給
- 高齢者能力の最大化支援
- 職場環境整備
- 高齢者雇用の価値評価

解放
リタイア



生きがい就労

新しいセカンドライフの形

- 希望する職場で活躍
- 自分のペースで無理なく働く
- 年金+α(月数万円)の収入で生活に潤いを
- 人と人とのつながりが生まれ、地域生活も豊かに

- 徹底したワークシェアリング
- 高齢者に相応しい役割の開発(若者の雇用は奪わない)
- 雇用管理の最適化
- 高齢者の積極雇用による新しい事業モデル(成功モデル)の追求

地域主体の生活へ



地域社会に貢献
(高齢者が地域を支える)

農業



食



学童保育



生活支援・福祉



事業統括組織の機能～オペレーション・プロセスの概要

事業者の開拓(前スライド)

開拓力
提案力

1. 就労セミナー受講者の募集(掘り起こし)

- ・募集チラシのポスティング
- ・柏市広報への掲載依頼
- ・地域紙誌への掲載依頼



2. 就労セミナーの実施<講義内容>

- ・セカンドライフの就労の進め
- ・高齢者就労の現状
- ・雇用者が高齢者に求めること
- ・セカンドライフの就労の新しいかたち
- ・就労内容に関するアンケート

社会教育
啓発活動



3. 心身機能の検査

- ・集団検査(身体・認知)
- ・個別認知機能検査
- ・健康チェックセンター検査

生きがい就労の実現

7. 就労

コーディネート(継続フォロー)

- ・高齢者と事業者との雇用契約
- ・ワークシェアリング

ワークシェアリングの導入

6. 事業者による研修

- ・業務内容の指導
- ・ワークシェアリング



コーディネート

5. 事業者による面接

- ・業務の適性・就労内容の希望

4. 事業別就労体験・見学会

- ・保育, 子育て ・学童保育 ・介護施設
- ・農業・生活支援

コーディネート

<参考> 「就労セミナー」の様様

第1回



第3回



共同圃場での高齢者就農を継続＋研修用「農業塾」をスタート

(2010年度)

○農政課＋福祉政策室＋東大での企画調整。農業委員会での検討他

(2011年度)

○担い手候補の若手農家グループと継続検討(家族農家の現状理解、営農支援の検討)

○若手農家7名(現在8名)によるLLP「**柏農えん**」を立ち上げ(2012/1)

(2012年度)

○LLPメンバー農家における高齢者の**体験農業**を継続実施。

同時に市内2カ所の休耕地を共同圃場として確保。ダイコン、キャベツなど栽培を開始

○販路拡大の取組みを継続

(2013年度)

○正規雇用者(シニア)についてメンバー農家の圃場及び

共同圃場における就農を継続

○能力・スキルが未達のシニアについては「**農業塾**」での研修へ移行

○地元での販路拡大を模索(地元企業への協力取り付け)



<参考>高齢者就農の様様



(露地栽培・茄子の添え木立て作業)



(ブルーベリー剪定作業)



(田植え補助作業)



(ネギの出荷作業)



(ブルーベリー剪定作業)

植物栽培ユニット(2機)の設置。栽培を試行スタート

(2010年度)

- ミニ野菜工場に関する情報収集、事業化に向けた検討(千葉大との検討)
- 柏市内企業「三協フロンティア(株)」との協議を継続(⇒担い手として内諾)

(2011年度)

- 東日本大震災の関係から「三協フロンティア(株)」が担い手から辞退⇒担い手探し、構想を再検討

(2012年度)

- 大和ハウス工業(株)から、
新製品「agri-cube」(2機)の寄贈を実現
⇒**団地内空きスペースに設置(2013/3)**
- ※2014年度以降は、団地建替後の新たな
場所に移設予定

(2013年度)

- 就労シニア(6名)による**栽培を試行開始**
※2013/5/31「お披露目会」を実施



団地内商業区の建替え後の設置に向けて計画策定⇒事業者公募へ

(2010-11年度)

- 建替え後の商業区のイメージ・コンセプト・機能について内部検討を継続
- 複数の事業者へのヒアリングを実施

(2012年度)

- 地域住民の健康に貢献、多世代交流できる場としての構想を詰める
⇒構想の中に「**地域のレストラン**」となる

コミュニティ食堂他を組み込み

- 地元の既存事業者、住民へのヒアリングを継続実施
- 公募要領の検討、作成

(2013年度)

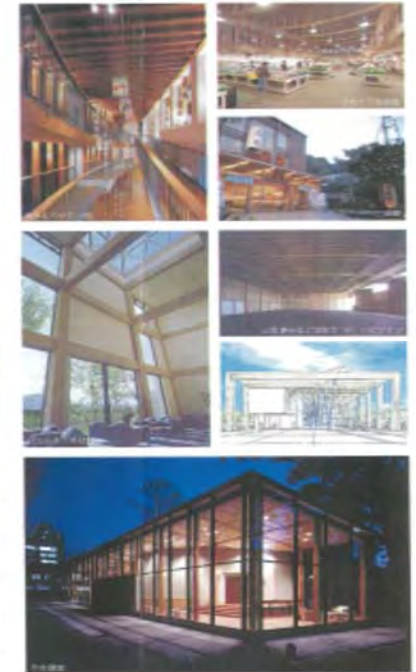
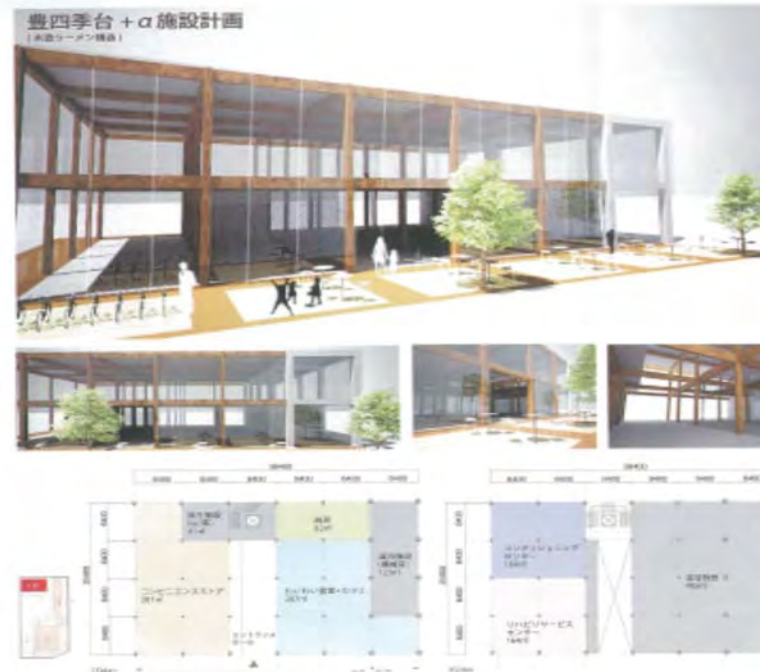
- 公募**を実施
【建替え】



(2015年度)

- 事業開始(予定)

<内部検討段階での構想・イメージ>



<参考>コミュニティ食堂イメージ@柏市豊四季台



保育士の周辺業務部分で高齢者が活躍中

(2010年度)

- 柏市内の子育て事情の情報収集
- 担い手となる事業者を公募⇒採択

(2011年度～)

- 就労シニアは「**まちの先生**」として、主に以下の業務を担当
 - ・早朝7時半からの園児受け入れ、保育補助
 - ・園児の午睡の準備と導入、見守り補助
 - ・夕方5時までの保育補助、降園時の親御さんへの引渡し
 - ・読み聞かせ、折り紙、お手玉、百人一首など伝承あそびの実践 他
- その他にも送迎の補助や施設の環境整備など、周辺的な業務を担当している

＜「読み聞かせ」の様相＞



シニアとしての区別なく、「学童+塾」経営を支える講師として活躍中

(2010年度)

- 学童事業に関する情報収集
- 事業の担い手探し⇒選定

(2011年度)

- 事業者と事業構想に関する検討を継続
- 豊四季台地域内での新店舗開設に向けた準備・調整

- 学童と塾の機能を兼ね備えた“次世代型進学塾「**ネクスファ柏**」”を開設(2012/3/1)

(2012年度～)

- 就労シニアはこれまでの**経験・スキル**を活かす形で、「英対話」や「英語あそび」のプログラムを担当
- ・新たに「学校～塾」の送迎サービスもシニアが担当

＜英対話を教える（上）・英語あそび（下）をする高齢者＞



新・小3～中2生募集!
「次世代型進学塾」
ネクスファ NEXT
未来へのマナビ
さあ、扉をたたこう!
 進学・就職ふたつの関門を突破する
 「次世代のマナビ」
入塾説明会
 2/18(土)10:00～
 2/19(日)13:00～
3/1(木)
 いよいよ開校!

60代の元気シニアが老親高齢世代の生活を支援・活躍中

(2010年度)

- 生活支援サービスに関する情報収集
- 柏市内の既存サービス(社協等)との棲み分けを検討
- 事業の担い手探し⇒選定

(2011年度～)

- 就労シニアは主に以下の業務を担当し活躍
⇒居室の**掃除・調理、通院介助、買物代行**他

<事業概要>

【生活支援】

掃除、洗濯、調理、散歩、服薬管理、傾聴サービス、安否確認・・・など

【生活充実】

緊急時の対応、入院中の身の回りのお世話、大掃除のお手伝い、外出介助(趣味サークル、美容院、お墓参りの付き添う等)・・・など

サービス提供時間

7:00～21:00
(30分刻み)

年中無休

料金 (消費税込)

	生活支援(生活サポート)	身体介護	外出時待機
30分	1,260円	2,420円	934円
60分	2,180円	4,220円	1,868円
90分	3,050円	6,130円	2,802円
120分	3,920円	7,000円	3,736円
150分	4,790円	7,870円	4,670円
180分	5,660円	8,740円	5,604円

※長時間のご利用や内容が複雑なサービス等は、ご相談ください。

たとえば、こんな時に

入院中・退院直後の
身の回りのお世話

入院・退院に伴う
ご自宅の環境整備

調理・掃除・買い物
などの家事支援全般

その他、お困りごとを
サポートします

介護士がケアに専念できるように、施設の周辺業務を就労シニアが担当

(2011年度～)

- 初期計画にはなかった分野だが、豊四季台団地内に新設された高齢者介護施設「柏こひつじ園」において、主に次の業務を就労シニアが担当
 - － **食事補助**や施設のバックヤード業務(洗濯、掃除他)
 - － 施設が行う地域住民に向けた**カフェの接客**サービス
 - － 施設周辺での**園芸業務**
- 2013年度からは新たな特養でも就労シニアの活躍がスタート



★事業者と就労シニアの声(定性的効果)★

事業者

- 「早朝や午後の少しだけ短時間の労力が欲しいときにシニアの就労は助かる（短時間だけでは若者を雇用できない）」
- 「若者は教育コストがかかるが、高齢者はかからない、即戦力として活躍してもらえる」
- 「最低賃金レベルのコスト（学童保育のみ他の雇用者と同賃金）で有能な人材を雇用できるのはありがたい」
- 「高齢者に周辺業務を担ってもらえることで、保育士や介護士が本業に専念できて事業全体としてのパフォーマンスが上がった」等

就労シニア

- ✓ 「シルバー人材センター等からは年齢を理由に全く働く場所を提供してもらえなかったが、こうして新たに働くことができて嬉しい生きがいになった」
- ✓ 「地域に友人はいなかったが、新たに仲間ができてよかった」
- ✓ 「僅かながらも年金以外の収入が得られることで、旅行やおいしいものを食べるといった新たな楽しみがもてて嬉しい」
- ✓ 「何よりも生活のハリができて、規則正しい生活に戻った、就労のある日は身だしなみを整え、気分的にもハリを感じる」等

これまでの**成果**と残された**課題**

成果

【社会への貢献(課題解決)】

シニアの新たな社会参加モデル (新たな就労の形)を確立！

- 生きがい就労の活躍の場(5領域9事業)をゼロから開拓！
- 約600名の柏市住民にセカンドライフの活躍に向けて動機付け、約170名の高齢者の「生きがい就労の雇用」を実現！
- 中間支援組織のコーディネート・サポート機能(セミナー、マッチング支援、就労フォロー)が新規的成果！

【研究】 高齢者の就労による効果に関する科学的な検証を実施

【政策】 「生涯現役社会」づくりに向けた政策への進言を実施

課題

高齢者のニーズは多様
生きがい就労は一部のニーズに対応

- 1 高齢者の多様なセカンドライフ・ニーズに応える支援システムへの発展と実装化
※中間支援組織の自立化・ビジネスモデルの構築

当該研究(効果検証)、政策反映も道半ば

- 2 就労シニアに対する効果検証の継続
地域に与える効果検証の開始

- 3 上記①支援システムの構築(地域実装化)に向けた政策進言を継続

<参考>本就労形態の位置づけ（イメージ）

（シルバー人材センター）

（民間派遣企業）

単純労務的

専門的

時給	500円	800円	1000円	1500円以上
フルタイム 週5日 6時間～				
パートタイム 週3日～ 4時間～				
プチタイム 週2日,3日 2時間～4時間	有償ボランティアのゆるい働き方	労務的な仕事のゆるい働き方	経験や技能、知識を活かしたゆるい働き方	
ボランティア				
起業 ※様々なスタイルでの起業ニーズもあり(NPO、SOHO、ナノ・コーポ等)				

お金重視

生きがい重視

高齢者のセカンドライフ就労ニーズ
セグメントイメージ

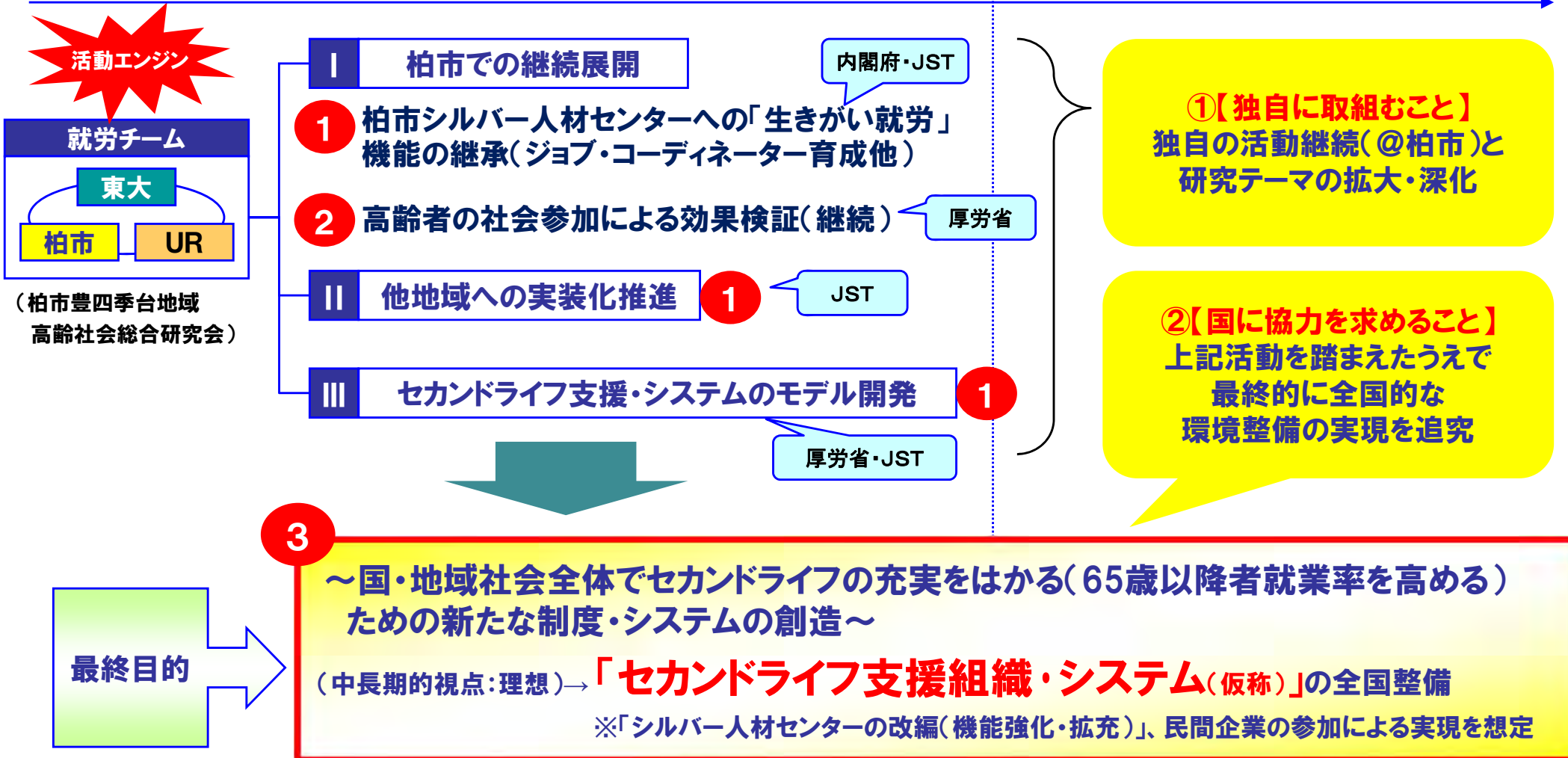
「生きがい就労」の中心部分
※さらなる開発・拡大が求められる

★今後の展開と展望★

高齢者の**多様なセカンドライフ・ニーズ**に応えるさらなる取組みを継続！

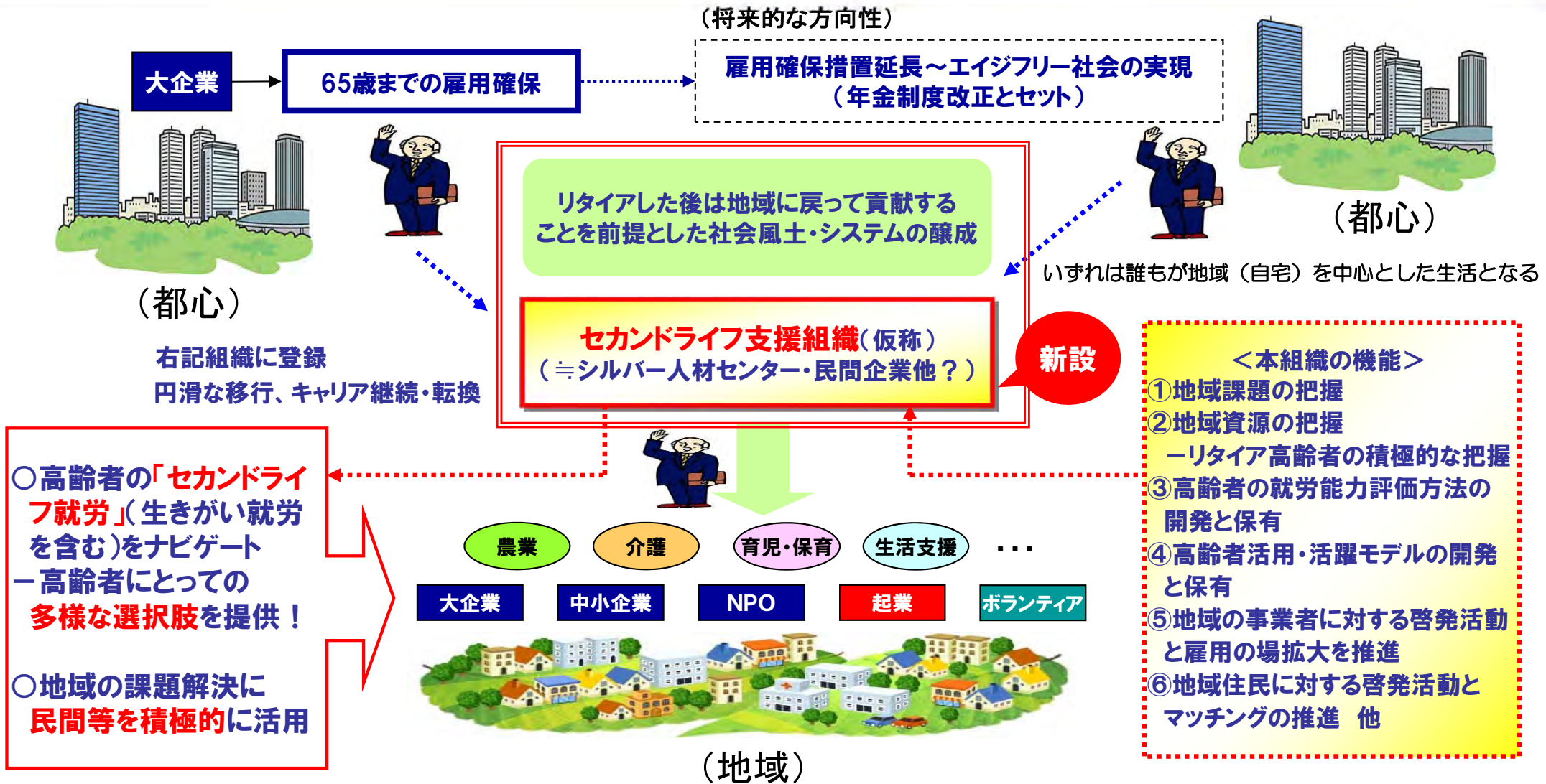
2014(H26)

2015(H27)



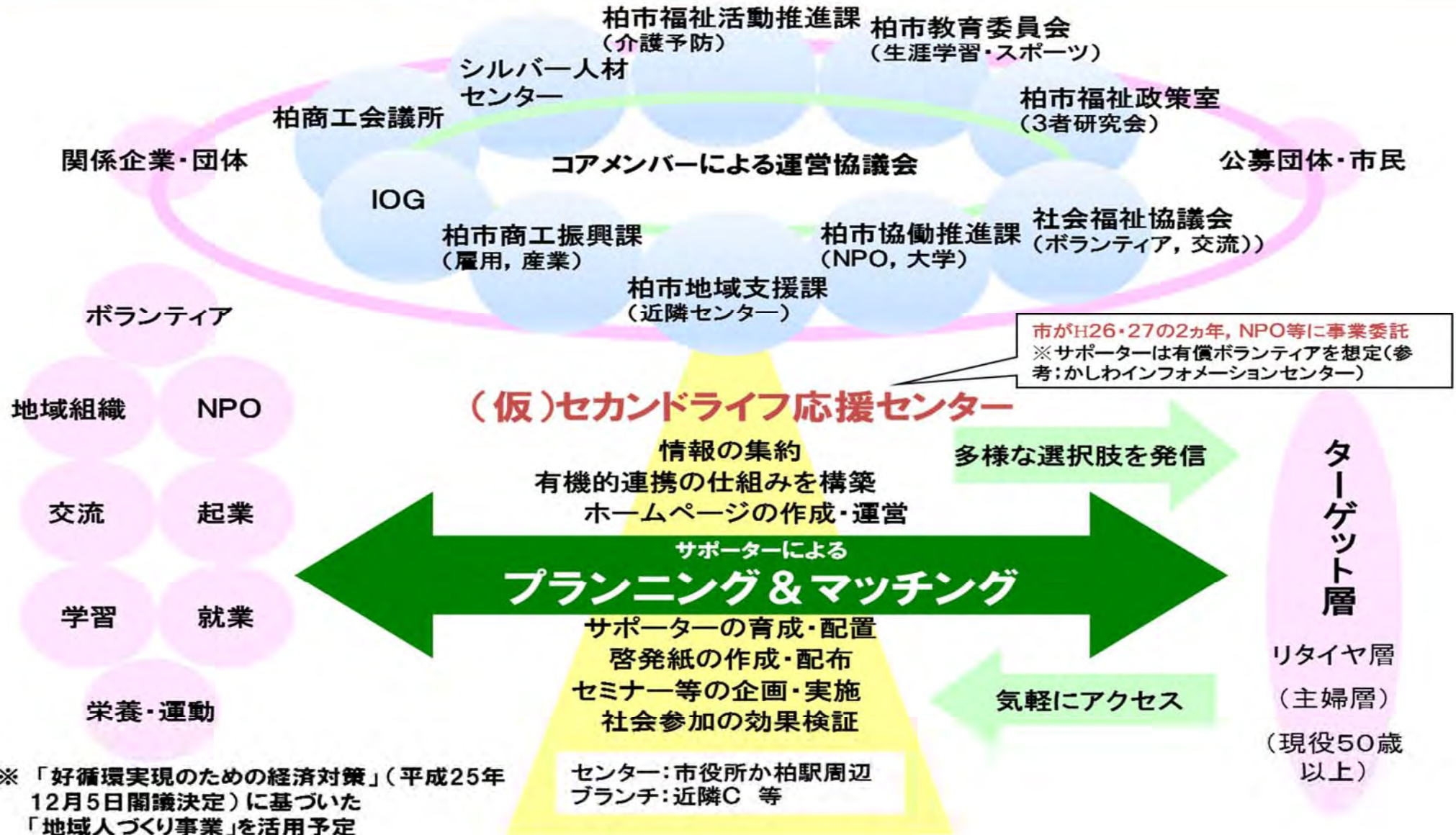
★最終GOAL:セカンドライフ支援組織・システムのイメージ★

65歳で定年となったら、培ってきた経験・能力を活かせる形で、地域で活躍する、貢献することが当たり前の社会を構築すべき。そのための体制整備が必要である



<参考> 柏市におけるセカンドライフ支援・プラットフォーム化

プラットフォームイメージ (案)



○超高齢・長寿社会の先頭を歩む日本。年齢に関わらず活躍し続けられる
「生涯現役社会」を真に実現していかなければならない

○セカンドライフは「本人任せ」(自助努力)の時代
⇒社会サポートで「ナビゲート」していく時代

○多様なセカンドライフ・ニーズを一元的に応える社会の仕組みはない



○解決策は「セカンドライフ支援組織・システム(プラットフォーム)」の構築

“モデルを創って、国・社会を動かしていきたい！”



• • • ご清聴ありがとうございました

Gerontology

Gerontology



2014年9月25日

ニッセイ基礎研究所 主任研究員 前田展弘
(東京大学高齢社会総合研究機構 客員研究員)